



公民館運営連絡会

3月17日(火)、朝地公民館運営連絡会を実施しました。委員8名が出席し、朝地公民館フェスタ・人権学習・放課後チャレンジ教室等の事業について貴重なご意見をいただいたところです。令和8年度事業に活かせるものについては生かし、また市に対して要望できるところは要望していきたいと考えています。



健康マージャン体験会



3月18日(水)、朝地公民館の市民講座として「健康マージャン体験会」を実施しました。9名の参加者は初めての方がほとんどで、マージャン牌に触って流れを体験していただきました。参加者同士で会話も弾み、マージャンを始められるところまでをゴールとして楽しむことが出来ました。

この4月から公民館クラブとして「健康マージャンクラブ」がスタートしており、楽しむ仲間を募集しております。初心者大歓迎です。新しい趣味づくり、楽しく過ごす仲間づくりに最適ですので、ご参加されてみてはいかがでしょうか？

【健康マージャンクラブ】

日にち:第2木曜日、第4土曜日

時間:13:30~15:30

代表:志賀 智美

連絡先:0974-72-0073

公民館フェスタ実行委員会

3月25日(水)、第30回朝地公民館フェスタ実行委員会が開催されました。東藤実行委員長をはじめ、各クラブの代表者23名が出席し、公民館フェスタについての反省や、意見交換をしました。

舞台発表では、「日ごろの練習の成果が出てとても良かった」や「最後を飾った『ふるさとのおの』の踊りが大変盛り上がり良かった」また、展示部門については、「力作ばかりでとても素晴らしかった」等の感想をいただきました。

皆様から頂いたご意見は、次回のフェスタに活かしていきたいと考えています。



スポーツ振興会運営委員会

3月25日(水)、令和7年度朝地町スポーツ振興会運営委員会が開催されました。委員さんから「どの事業も定着したと感じた」「6月・10月に開催したモルック体験会は子どもと地域の方が混ざったチーム編成で良かった」「ルールが分からないままプレーしていたが、楽しく出来た」とか「今後定着していくと思われる」等のご意見を頂きました。全体を通して、町民の親睦・健康づくりのためにも、今後も継続してスポーツ行事を開催していこうとの事で会を閉めたところです。



新刊のおしらせ

イン・ザ・メガチャーチ//朝井リョウ著

2026年度本屋大賞受賞作。この作品は、3人の視点でのファンダム(とりわけ熱いファンの集団)経済が描かれています。今の時代に人々は何を信じ、操られ、行動するのか、現代社会の深部を映し出しています。



カフェーの帰り道//嶋津輝著

第174回直木賞受賞作。「女給」という仕事を通し、大正から昭和を生きた女性の人生を描いた作品。東京・上野のカフェーで働いていた女給の“百年前のわたしたちの物語”。



棺桶まで歩こう//萬田緑平著

医療との向き合い方を変えるだけで、家で人生を終えるという幸せが味わえるようになる!2000人の幸せな最期を支えた「在宅」緩和ケア医が書いた本です。
歩けるうちは、人は死なない。



PRIZE(プライズ)//村山由佳著

「直木賞」という栄誉を手に入れたあるベストセラー作家の情熱と、編集者の欲望・・・
作家と、彼女を取り巻く人間たちの情熱がほとばしる衝撃作品。



失われた^{かお}貌//櫻田智也著

2026年本屋大賞ノミネート作品。
過去の未解決事件と現在の事件が交錯し、無関係に見えた出来事や人物が一つの真相へと収束していく警察ミステリです。



❁ 開館時間 平日 8:30~17:00

*土・日・祝、年末年始はお休みです。

❁ 貸出期間 2週間

❁ 貸出冊数 1人5冊まで

❁ 図書室にない本はリクエストしていただければ、お取り寄せします。

❁ 学習スペースもありますので、お気軽にお立ち寄りください。

